

和歌山大学への観光系学部の設置を求める意見書

和歌山県は世界遺産に登録された「紀伊山地の霊場と参詣道」に代表される自然、歴史、文化など豊かな観光資源に満ちあふれており、世界遺産登録を弾みに国内外から観光客が大幅に増加する中、県内一丸となって観光振興に取り組んでいるところである。

また、政府におかれても外国人旅行者の倍増など「観光立国」を推進される中、高い国際対応力、歴史や文化への深い造詣、豊かなホスピタリティを有した人材が観光分野で強く求められており、それを支える人材育成の強化策として大学への観光系学部の設置が位置づけられている。

一方、和歌山大学は本県唯一の総合大学として、優れた人材の輩出や研究面での数多くの成果など、本県高等教育の中核を担っており、国立大学法人化を経て、地域での存在感・期待感が一層高まっている。

以上、世界遺産を初めとする本県観光資源が極めて優れた素材として観光教育に活用できること、さらには、人材育成に加え、科学的な観光振興策の提案、新たな産業の創出など「観光立県和歌山」の活性化につながる様々な展開が期待されることから、和歌山大学の観光系学部設置が早期に実現するよう強く要望するものである。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成17年6月29日

和歌山県議会議長 吉井 和視

(意見書提出先)

衆議院議長

参議院議長

内閣総理大臣

財務大臣

文部科学大臣

国土交通大臣